

学校フロン排出抑制法に伴う簡易点検業務仕様書

1 目的

学校に設置されている空調機器について、フロン排出抑制法に基づき簡易点検を実施する。

※点検は、教育委員会が管理する建物にある機器のみ対象とし、学校敷地内の独立した「わくわく」の建物のものは対象外とします。

2 履行場所 麻生区内川崎市立学校

3 履行期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日

4 業務内容

(1)簡易点検（履行期間中2回）目視による点検

- ①異常振動・異常音の有無
- ②機器及び周辺の油のにじみ
- ③外観及び周辺の損傷、摩耗、腐食、劣化などの有無
- ④熱交換器のキズ、腐食、錆などの有無
- ⑤点検結果について、点検記録簿に記載すること。

(2)点検頻度

6ヶ月に1回

※市で契約しているシーズンイン点検以外の、シーズンオン点検として7月～9月、および1月～3月に実施する。

(3)点検対象機器

- ・別途提供する資料のとおり（教育委員会が管理する建物にある機器のみ対象）
- ・工事等により機器が更新されている場合は更新後の機器とする。
- ・提供資料に記載のない機器があった場合は点検対象外ですが、その旨がわかるように設置機器一覧に記載してください。

5 報告書等の作成・提出

(1)各学校配布用

学校毎に、設置機器一覧表と点検記録簿・チェックシート等を紙ファイルに綴じたもの1式

(2)保存用

- ・異常等があった場合の報告書
- ・設置機器一覧表、記録簿、チェックシート、室外機の設置状況写真等、全ての電子データを電子メールにて提出すること。

(3)各該当校での業務完了確認のため、作業完了報告書に印を受けた書類を、発注者に提出すること。

6 業務実施上の注意事項

- ・業務実施1ヶ月前に、実施予定日を一覧表にして日程・時間を発注者に連絡すること。なお、学校側の都合により予定日を変更いただく場合がありますのでご了承ください。また、業務実施日

は、原則として学校閉庁日（土曜日・日曜日・祝日、夏季学校閉庁日等）を除きます。

- ・作業の実施にあたっては、安全対策に万全を期すること。
- ・作業に使用する消耗品等は、品質良好で作業に最適なものを使用すること。
- ・業務実施に必要な用具及び軽易な消耗品等は、受託者の負担とする。
- ・作業は学校職員の立会いのもとで実施すること。
- ・作業日当日は、来校の旨を必ず教職員に告げ、ID着用などの指示に従うこと。
- ・作業中の写真を撮影し、発注者の求めに応じて提供することができるよう保存しておく。（業務完了後、6年間）
- ・点検時に異常等があった場合は、別途、書面にて学校及び発注者に報告すること。
- ・記録簿や報告書等の様式について、事前に発注者に確認をとること。
- ・この仕様に記載していない項目や疑義が生じた場合は、発注者と協議の上、決定することとする。

No	学校番号	学校名	（簡易点検対象台数） 室外機総数	小学校にある わくわくの場所
1	100	長沢小学校	16	別棟（プレハブ）
2	101	西生田小学校	17	別棟（プレハブ）
3	102	千代ヶ丘小学校	20	別棟（プレハブ）
4	103	金程小学校	23	校舎
5	104	百合丘小学校	22	校舎
6	105	南百合丘小学校	15	（旧幼稚園舎）
7	106	麻生小学校	22	校舎
8	107	東柿生小学校	34	校舎
9	108	王禅寺中央小学校	25	校舎：体育館棟
10	109	真福寺小学校	13	校舎
11	110	虹ヶ丘小学校	19	校舎
12	111	柿生小学校	30	別棟（プレハブ）
13	112	岡上小学校	16	別棟（プレハブ）
14	113	片平小学校	19	別棟（プレハブ）
15	114	栗木台小学校	18	別棟（プレハブ）
16	245	西生田中学校	35	
17	246	金程中学校	20	
18	247	長沢中学校	25	
19	248	麻生中学校	23	
20	249	柿生中学校	18	
21	250	王禅寺中央中学校	16	
22	251	白鳥中学校	20	
計	22	校	466	台数

(受託者→学校→受託者→発注者→教育環境整備推進室)

作業完了報告書

令和 年 月 日

学 校 長 様

(受託者)
所 在 地 _____

名 称 _____

代表者氏名 _____ 印 _____

業務名 学校フロン排出抑制法に伴う簡易点検業務 (_____ 小・中 学校)

が、完了しましたので、報告いたします。

上記の業務について、完了したことを確認しました。

令和 年 月 日

川崎市立 _____ 学校長 _____ 印 _____

※記入例（データ保存する際のファイル名：【学校番号】 ◎◎学校リスト）

◎◎学校

[illegible]

第一種特定製品の点検整備記録簿
(空調機器用)

第一種特定製品に関する事項				管理者に関する事項	
				管理者(学校名)	
				川崎市立〇〇学校	
管理従事者				住所	川崎市麻生区〇〇
				氏名	担当者名 〇〇
第一種特定製品に関する事項				管理番号	〇〇 - 〇〇
設置場所		〇〇		機器の種類・系統・系統名	(例)EHP AC—〇〇、〇〇室
				設置年月日	〇〇年〇月〇日
充填 フロン類	種類	R—〇〇		製造メーカー	〇〇
	量(kg)	〇. 〇		型番・型式	〇〇
圧縮機の定格出力(kw)		〇. 〇		製造番号	〇〇
簡易点検に関する事項					
実施年月日		点検者		点検内容	点検結果
〇〇年〇月〇日		株式会社〇〇 〇〇 〇〇		<input checked="" type="checkbox"/> 異常振動・異常音の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 損傷・摩耗・腐食・錆などの有無 <input checked="" type="checkbox"/> 油漏れ・にじみの有無 <input checked="" type="checkbox"/> 熱交換器への霜付きの有無	異常〇〇
				<input type="checkbox"/> 異常振動・異常音の有無 <input type="checkbox"/> 損傷・摩耗・腐食・錆などの有無 <input type="checkbox"/> 油漏れ・にじみの有無 <input type="checkbox"/> 熱交換器への霜付きの有無	
				<input type="checkbox"/> 異常振動・異常音の有無 <input type="checkbox"/> 損傷・摩耗・腐食・錆などの有無 <input type="checkbox"/> 油漏れ・にじみの有無 <input type="checkbox"/> 熱交換器への霜付きの有無	
				<input type="checkbox"/> 異常振動・異常音の有無 <input type="checkbox"/> 損傷・摩耗・腐食・錆などの有無 <input type="checkbox"/> 油漏れ・にじみの有無 <input type="checkbox"/> 熱交換器への霜付きの有無	
定期点検・専門点検に関する事項					
実施年月日		点検者 (法人名、作業者氏名)		点検内容	点検結果 (漏えい等確認した場合は漏えい等箇所その他の状況)
				<input type="checkbox"/> 定期点検・ <input type="checkbox"/> 専門点検	
				<input type="checkbox"/> 定期点検・ <input type="checkbox"/> 専門点検	
漏えいや故障等が確認された場合における速やかな修正が困難である場合					
理 由		※原則、修理をしないままの充填は禁止。例外については「フロン排出抑制法第一種特定製品の管理者等に関する運用の手引き 初版(H27.3) 環境省 経済産業省」p.40参照。			修理予定 年月日
					※応急的に充填する場合でも、60日以内の修理が必要。
修理に関する事項					
実施年月日		修理実施者 (法人名、作業者氏名)		修理内容	修理の結果
充填・回収に関する事項					
実施年月日		充填回収業者 (法人名、作業者氏名)		設置・整備等(設置以外のもの)の別	充填・回収したフロン類の種類
				<input type="checkbox"/> 設置・ <input type="checkbox"/> 整備等	
				<input type="checkbox"/> 設置・ <input type="checkbox"/> 整備等	

備考1 フロン類の種類は、冷媒番号(R-22、R-404Aなど)を記載します。
 備考2 簡易点検は、担当者が周囲の状況等から安全で容易に確認できる項目について行うこと。
 備考3 定期点検は、機器の種類・規模ごとに定められた頻度(1年に1回以上から3年に1回以上)で行う点検のこと。
 専門点検は、点検等により漏えいや故障等を確認した場合に、可能な限り速やかに行う専門的知見を有する者による点検のこと。
 備考4 点検・整備記録簿は、機器を廃棄するまで保管する必要があります。